

# コロナ禍でもできることを着実に進めよう

一般社団法人 全国さく井協会 第47回定時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は6月18日、東京都中央区の鉄鋼会館で第47回定時社員総会を開催し、令和2年度事業報告、決算を承認し、令和3年度事業計画及び予算の報告を了承した。任期満了に伴う役員改選では、13名の理事と2名の監事を選任し、足立敏之参議院議員を新会長に決定した。

総会の冒頭、挨拶した脇雅史会長は9期18年にわたり会長を務めた思い出に触れつつ、「資格制度(地下水利用設計管理技術者資格制度)については、コロナの影響で先延ばしになっており残念である。皆様に後を託したい」と会員に向けて改めて謝意を述べた。

新たに会長に就任した足立敏之氏は新役員を代表して挨拶し「今国会で水循環基本法が改正され、地下水マネジメントへの注力が盛り込まれた。今後の会員の業務向上に役立てるよう全力を尽くす」と力を込めて会員の結束と協力を求めた。



挨拶する脇雅史会長



役員を代表して足立敏之新会長が挨拶

令和3年度事業計画は、会員増による組織の充実に取り組むが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく『地下水利用設計管理技術者』資格制度のスタートは1年延期して令和4年度となるが、地下水総合講座テキストの電子版の作成は今年度中に完了させたい。秋に予定していた北陸支部での『いい井戸の日』の開催は中止したこと、昨年はコロナ禍で行えなかった講習会もオンライン方式で実施していく計画で、最初は(一社)地下水技術協会と共催の「初級技術者のための地下水講座」をオンラインで6月29日に開催することが話された。コロナ禍で沈みがちな協会活動を活性化するための提言を行う総務委員会を再構築し、活動に入ることなどが説明された。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため懇親会は行わず、以上で定時社員総会は終了した。このような状況下でご出席いただいた皆様ありがとうございました。